



公益
社団法人 京都府放射線技師会

京放技ニュース

8 / 2012
(通算627号)

発行：(公社)京都府放射線技師会 TEL&FAX.075-802-0082 E-mail:kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp
HP アドレス http://www.kyohogi.jp/

〒604-8472 京都市中京区西ノ京北壺井町 88-1 二条プラザ

振込 郵便口座 01070-3-11019 ゆうちょ銀行 店名 一〇九 店番 109 当座 口座番号 0011019
店名 四四八 店番 448 普通 口座番号 3438322

両丹地区夏季研修会のお知らせ

両丹地区理事 山添 三知生

時下、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝の事と御拝察申し上げます。
さて、平成 24 年度夏季研修会を下記のとおり開催します。ご多忙の折とは存じますがお誘い
合わせの上、多数ご出席賜りますようお願い申し上げます。

尚、参加を希望される方は、8 月 24 日(金) までに京放技事務所または両丹地区理事・地区
委員までご連絡いただくようお願いいたします。

記

1. 日 時 平成 24 年 9 月 2 日(日) 10:30 ~ 15:30 (9 時 50 分受付開始)
2. 場 所 丹後あじわいの郷 情報交流センター
京丹後市弥栄町鳥取 123 Tel 0772-65-4193
3. 会 費 1,600 円 (非会員 2,600 円) (昼食代、入園料込)

○ 一般演題 (午前の部) 10:40 ~ 11:10

1. AIDR 3D について 京都府立与謝の海病院 後藤 宏成氏
2. 「調整中」

○ 特別講演 11:15 ~ 12:10

- 「成長期の野球肩、肘の障害について (画像診断) (仮)
京都丹後市立久美浜病院 整形外科 吉岡 直樹先生

○ 食事休憩 12:15 ~ 13:15

○ 一般演題 (午後の部) 13:20 ~ 15:20

3. 静脈注射 (針刺しは除く) 講習会について 京都第二赤十字病院 河本 勲則氏
4. 手術室にて使われる仮想 MPR 画像 田辺中央病院 中島 智也氏
5. 「調整中」
6. 京都府地域における医療施設の放射線管理状況 (アンケート調査報告)

管理士会 山根 稔教氏

※内容につきましては変更・訂正となる可能性があります。詳しくは京放技ホームページに
てご確認ください。

※入園の際、ゲートで「京都府放射線技師会研修会」参加の旨を伝えていただければ、入園
料 400 円は不要です。

※宿泊を希望される方は、各自で問合せ・予約を行ってください。

「ゆーらびあホテル」(施設内にあります) Tel 0772-65-4567

以上

平成 24 年度近畿地域放射線技師会学術大会の演題募集について

大会長 牧島 展海

平成 24 年度近畿地域放射線技師会学術大会は、2 月 17 日（日）に大阪市にて開催されます。実行委員会では「期待される診療放射線技師の可能性 ―新時代への鼓動―」をテーマに教育講演ならびにシンポジウムを始めとして、様々な企画を立案して実りの多い学術大会となるように準備を進めています。そこで多くの皆様方のご参加と、日常の放射線業務の中での創意工夫・改善・調査等について、日頃の成果をこの機会にご披露下さいますよう演題のご応募をお待ちしております。今大会も昨年同様、大きな枠組みにおけるテーマ演題を募集させていただきます。

下記の応募要項に従って奮ってご応募くださるようお願い致します。

1. 開催日 平成 25 年 2 月 17 日（日）
2. 会場 大阪市立大学医学部学舎 4 階大講義室他
〒 545-8585 大阪市阿倍野区旭町 1-4-3
JR・地下鉄「天王寺駅」、近鉄「大阪阿部野橋駅」より西へ徒歩約 10 分
3. 参加登録費 会員・賛助会員：1000 円
会員以外の技師：2000 円
学生・一般：無料
4. 発表形式 口述発表（プレゼンテーション 7 分、討議 3 分の予定）
5. 募集期間 平成 24 年 8 月 1 日（水）～平成 24 年 9 月 30 日（日）
6. 演題応募について

応募資格：発表者は会員（平成 24 年度日放技会費完納者）とします。

入会手続き中の方も発表可能と致します。共同演者は最大 8 名までとします。

演題区分：「撮影技術」「機器管理」「医療安全」「医用画像」「消化管検査」とします。

原稿記載内容：演題名、発表者氏名、共同研究者氏名とそれぞれの日放技会員番号、施設名、所属技師会名、メールアドレスを明記して下さい。また申込み時は図表を使用しないで、目的、方法、結果、結論の順に 800 字以内で簡潔にまとめて下さい。

演題の採否はプログラム委員会にておこない後日メールにて通知致します。

予稿集掲載原稿のご案内は、後日実行委員会から申込み時のメールアドレスにご連絡致します。

応募方法：下記の大放技ホームページからご応募下さい。詳細はホームページ上の注意事項をご参照下さい。 <http://www.daihougi.ne.jp>

お問合せ先：〒 543001 大阪市天王寺区空清町 822
大阪府医師協同組合 東館 5 階
(社)大阪府放射線技師会 学術部 石黒まで
science@daihougi.ne.jp または 0667650301（大放技事務所）
事務所執務時間 月曜から金曜 13 時から 16 時まで

日本診療放射線技師会、京都府放射線技師会共催

診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー開催のお知らせ

京都府放射線技師会では、日本診療放射線技師会と共催で新人診療放射線技師を対象とした『診療放射線技師のためのフレッシューズセミナー』を開催することとなりました。

このセミナーでは、社会人として身につけるべきマナー、接遇、医療安全や感染に関する対策、胸部撮影で非常に重要となる気管支解剖の講義など、経験年数の浅い診療放射線技師の方にも適した講座をおこないます。今年卒業された新採用の皆さまのみならず、卒後数年の診療放射線技師も含めたセミナーです。この機会に是非、職場の未入会の方々にもご参加を後押しして頂ければ幸いです。

尚、新卒受講者については、今回講習会資料（ダイジェスト版）が収録された USB メモリーを謹呈します。

受講対象：新卒ならびに既卒未入会者を主に対象としていますが、卒後数年の診療放射線技師からベテランまでどなたでも参加していただけます。

参加費：無料

開催場所：メルパルク京都（京都駅前東側）6階

京都市下京区東洞院七条下る東塩小路町 676-13 TEL075-352-7444

開催日時：平成 24 年 8 月 26 日（日） 10：00～16：40

セミナープログラム

10：00～10：10 開会挨拶

10：10～12：10 気管支解剖講座 済生会京都府病院 後藤 正

13：10～14：10 医療安全講座 洛和会音羽病院 林 浩二

14：20～15：20 感染対策講座 国立病院機構宇多野病院 四丸 真俊

15：30～16：00 エチケットマナー講座 向日回生病院 丸山 久喜

16：00～16：30 技師会案内

16：30～16：40 閉会挨拶

申し込み方法：申し込みはフレッシューズセミナー受講希望、氏名、所属、連絡先電話番号、卒業年度、技師会会員は技師会会員番号を明記の下記へメール又は FAX にてお願いします。

(社)京都府放射線技師会事務所 メールアドレス kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp

FAX 075-802-0082

定員：先着 50 名 人数に達した場合には、締切させていただきます

申込締め切り：平成 24 年 8 月 17 日（金） 必着

問合せ (公社)京都府放射線技師会事務所 TEL 075-802-0082

(公社)京都府放射線技師会学術担当 原口 隆志

宇治武田病院 放射線科 0774-25-2578

平成 24 年度放射線管理士研修会のお知らせ

今回、診断領域線量計の校正についての内容で実習を含めた研修会を企画しました。講師を西谷源展教授にお願いしまして京都医療科学大学にて開催いたします。今回の研修は、前回の研修会で線量計の概念や特徴を学んだことからステップアップし、自分たちで持ち込んだ診断領域線量計の校正をテーマとしました。従いまして、研修日に持ち込まれる線量計の種類、台数を把握することもあり、研修会の参加は事前申し込みとします。募集する線量計についての詳細は西谷教授から記載がありますのでそちらをご覧ください。線量計を持ち込まれない方の参加も募集しています。研修会終了時に参加証明書を発行しますので放射線管理士の更新にお役立てください。

参加希望の方は、電話、Fax、メール等で会員番号、名前、持ち込まれる線量計の機種名と台数の有無を明記して京放技事務所にお申し込みください。なお、申込期限は 8 月 31 日までとします。

電話は、月～金の午後 1 時～ 5 時で対応 Tel & Fax 075-802-0082

E-mail: kyohogi@mbox.Kyoto-inet.or.jp

開催日時 平成 24 年 9 月 15 日(土)
開催場所 京都医療科学大学
京都府南丹市園部町小山東町今北 1 番 3
開催時間 13:30 ~ 16:00
参加費 京放技会員無料 (非会員は、1,000 円)

管理士会 山根 稔教

診断領域線量計の校正について

放射線量の測定において線量計の校正は重要な項目です。線量計の指示値は国家標準によって一次校正又は二次校正された線量計との比較によって初めてトレーサビリティのとれた正しい線量が得られます。今回、線量計の校正の概要説明し、校正の実験を実施します。診断領域の線量の校正には京都医療科学大学に新しく導入された線量計校正用の高精度 X 線装置を使用して実験を行います。今回の実験に使用する線量計を募集します。募集する線量計は診断領域用で下記に類するものです。

記

診断用電離箱型線量計 例 Radocl 9015 型 10X5-6 Radcon500 型 550-4
などプローブの電離体積 3~30ml 程度のもの
乳房撮影用線量計 例 Radcal 9015 型 10X5-6M Solidose (半導体式)
電離箱式サーベイメータ 例 アロカ ICS311 型 など電離箱式のもの

※ GM 管式、シンチレーション式サーベイメータ、半導体式サーベイメータ
については今回は対応できません。

線量計について不明な点があれば西谷 (京都医療科学大学 Tel 0771-63-0066) までお問い合わせください。校正した線量計については、公益社団法人日本放射線技術学会 診断領域線量標準センターの証明書を発行いたします。

以上

公益社団法人認可を祝して

元会長 井ノ崎 光彦

このたび、新公益社団法人の御認可、誠におめでとうございます。

京都府放射線技師会は、昭和 23 年 5 月 2 日に京都府エックス線技師会として創設され、永い間、任意団体として活動し、昭和 58 年 6 月に社団法人の認可を頂き、今日まで社団法人として世間に認められる団体として参りましたが、平成 20 年 12 月 1 日公益法人制度改革 3 法が施行され、新たに公益性の認定を受ける公益社団法人としての認可が必要となり、平成 24 年 5 月 1 日京都府知事より社団法人の解散及び公益社団法人設立の登記の認可がおりました。

公益法人認定法は公益法人の公益目的事業の定義を、学術、技芸、慈善その他の公益に関する種類の事業であって、不特定かつ多数の者の利益の増進に寄与するものとしている。従前より（社）京都府放射線技師会は、京都府民の皆様に対して『くらしと健康』、『市民講座』『公開研修会』等を通じて府民の皆様にご貢献して参りました。

今後もより一層あらゆる機会において府民の皆様にご貢献のある、新たな事業を企画していただき、貢献できる放射線業務を会員の皆様と一緒に実施していければと思います。

最後になりましたが、新公益社団法人設立認可にご尽力いただきました、轟会長はじめ役員の皆様にご感謝申し上げます。

平成 24・25 年度地区理事候補者選挙において以下 7 名の地区理事が当選しました。新就任地区理事のあいさつです。

北地区 古谷 充

この度、平成 24・25 年度北地区理事を担当する事になりました、西陣病院の古谷 充です。

今回、このような形で技師会活動に参加する機会をいただき、この活動を通じて日々の業務に活かしていけたらと考えています。また技師会に関する情報を地区の皆様にご伝え、より有効に活用していただけるよう努力していきたいと思っております。宜しくお願いいたします。

中地区 楡 隆之

平成 24・25 年度も引き続き中地区理事をさせていただくことになりました、京都民医連中央病院の楡 隆之と申します。中地区はまだまだ風通しが良いとはいえないので、細めに情報発信をして会員の便宜がはかれるように努めていきたいと思っております。宜しくお願い致します。

東地区 平川 益三

このほど、平成 24・25 年度東地区理事を担当することになりました京都第一赤十字病院の平川 益三です。職務上 病院内の業務も多忙を極めますが、技師会業務の重要性も考え地区理事をお受け致しました。前回、4 年前に地区理事を経験していますが、地区委員の方々や

会員の方々のご協力を頂いて地区活動、技師会活動を盛り上げていきたいと思っています。

また、今後、技師会業務に多くの要職に有るの方々のご参加を頂ければとも思います。2年間では有りますが、皆様のご協力をお願いいたします。

西地区 丸山 久喜

引き続き、平成 24・25 年度西地区理事を務めさせていただきます医療法人真生会向日回生病院の丸山 久喜と申します。地区理事をさせていただいて二期目となりますが、今年度は京都府放射線技師会も社団法人から公益社団法人への変革の年であり、このような時期に地区理事の職務を通じて技師会活動に参加できることは大変嬉しく、また身の締まる思いです。私も微力ながら技師会活動のお手伝いをさせて頂きながら、必要な情報を西地区の皆様が発信し、また皆様の意見や要望を聞き、技師会執行部の方に伝え少しでも有意義に活動していただけるように頑張っまいますので、皆様のご協力をよろしくをお願いいたします。

南地区 渡里 弘

引き続き平成 24・25 年度南地区理事をさせていただく事になりました京都九条病院の渡里弘といいます。前回より 2 期目となるのですが、技師会活動において財務を微力ながらお手伝いさせていただいています。新公益法人として認められるにあたり轟会長はじめ、さまざまの方の努力があつての事で、それを目の辺りにしてきて驚くばかりです。新たに始まる今後の活動において、少しずつではありますが変化していくと思われまます。これからは技師会の動きに付いて行けるように頑張りたいと思います。そして技師会員の増員を目指していきたいと思ひます。

両丹地区 山添 三知生

この度、平成 24・25 年度両丹地区理事に就任しました、京都府立与謝の海病院の山添 三知生です。私自身、以前に地区委員を経験させていただいていますが、ここ最近、技師会活動には足が遠のいている状態でした。今回、地区理事をさせていただくにあたり、歴代の理事の方々が築いてこられた地区活動や両丹地区の独自性を大切にしながら、今の時代にあつた地区活動が出来れば、と考えております。常務理事の城下理事や地区委員の方々と共に、地区会員の方々の意見や提案に耳を傾けて京都府放射線技師会と両丹地区とのパイプ役となり、技師会活動に取り組んで行きたいと考えおります。

今後とも、皆様のご協力ならびにご指導いただきますようお願いいたします。

西南部地区 松元 誠

平成 24・25 年度西南部地区理事を務めさせて頂く事になりました、パナソニック健康保険組合 松下記念病院の松元 誠です。会員の皆様に積極的に学術関連や厚生事業などの技師会活動にご参加いただき、縦と横のネットワークを築き、多くの情報を得ることで、会員さんにメリットを感じていただけるよう、4 名の地区委員さんと共に、メールなどの通信手段も利用しながら、広報や世話役活動に努めてまいりますので、皆様のご協力よろしくをお願いいたします。

平成 24 年度両丹地区春季研修会報告

両丹地区理事 山添 三知生

両丹地区春季研修会を平成 24 年 6 月 16 日 (土) 京都府立与謝の海病院にて 14 時より開催しました。

参加者は 13 名 (非会員 2 名) でした。

1. Flex Vision XL (血管造影室用大型モニタ)

(株)フィリップスエレクトロニクスジャパンヘルスケア事業部 和泉 勇紀氏

今回は、これからの血管造影室の動向と Flex Vision XL について講演していただいた。血管造影室は、C アームの進化、各種デバイスの発達や解析ソフトの進化によって血管内治療、外科治療や心臓外科手術が行えるようになり、より高度多様化してきている。近年は Hybrid OR が提案され、手術室に血管造影装置が組み込まれ、高度な手術をサポートする役割になってきている。

Flex Vision XL は、56 インチ 8 メガピクセルのカラー LCD モニタで最大 16 チャンネルの信号入力が可能。その中の 8 チャンネルの信号を同時表示でき、術者はレイアウトを個別にカスタマイズし、その中から最適なものを目的に合わせて選択することができる。拡大、縮小、入力信号の変更、表示位置の入れ替え等も随時行うことができる。また、操作は検査室内のテーブルサイドから簡単に行うことができる。

2. 3T MRI の紹介

京都府立与謝の海病院 村松 佑哉氏

平成 23 年 11 月に導入された、SIMENS 社製 Magnetom Skyra の紹介として、従来の 1.5T との比較、豊富なコイルの使用例を症例ごとに紹介していただいた。

ASL は MR 灌流画像の一つで、非造影で Perfusion map を得ることが出来るため、繰り返しの撮像や造影剤禁忌患者でも非侵襲的に検査できる。

SWI は局所の磁化率の違いが強調され、脳組織では、静脈及び出血や微量な鉄沈着などの描出にも優れている。

DIXSON は水と脂肪の位相差を利用した脂肪抑制法の一つで、一回の撮像で 4 種類の画像が得られる (in-phase image opposed-phase image Water image Fat image)

MRS はケミカルシフトによって生じる対象核種のわずかな共鳴周波数の違いを計測することで代謝の変化をとらえる手法で前立腺がん等に活用。

テンソルイメージング、ファンクショナルイメージングなど豊富なアプリケーションが搭載されているが、3T 一台での運用であるため、ルーチン検査と特殊検査との検査枠の活用方法が今後の課題である。

3. 施設見学

血管造影室と MRI 室に移動し、実際に機器を触っていただき、使い勝手など意見交換を行った。

平成 24 年度全地区委員会報告

7月7日(土) 15時20分より、ホテルセントノーム京都 平安の間にて平成24年度全地区委員会が開催された。参加者は三役及び常務理事が9名、地区理事7名、監事1名、地区委員10名、組織調査委員2名及び北村日本診療放射線技師会常務理事の計33名であった。

松元理事の司会により開会した。今年は最初にバイエル薬品(株)の松阪講師のもと2012年度診療報酬改定の概要についてミニセミナーを行った。普段の業務に直結する内容であったので盛んな質疑応答になり30分では時間が足りないほどの盛況であった。

次に久保田理事に司会が移り委員会が行われた。轟会長からの挨拶では、昨年の東日本大震災関連でボランティアなどに尽力いただいた方への感謝の意を述べられ、次に本年5月1日に公益社団法人の認可を受けた旨の報告があった。

次に河本副会長より6月2日開催の第72回日放技総会の報告があった。主な内容は

- ・グリーゾーンの業務が一部認められた
- ・26年診療報酬改定に向けてのアンケートを実施
- ・23年度活動報告及び24年度予算案その後了承
- ・公益社団法人日本診療放射線技師会に改称
- ・その他には、JARTの会員情報に不備がある(会費を納入したにもかかわらず未納になっている、講習を受けたにもかかわらずカウントが付与されていないなど)ので対象者は一報ほしいとの事。

北村常務理事が出席されていたので普段なかなか聞けないことなど、質疑が盛んな会議になり終了予定時刻を過ぎての閉会となった。

意見や要望があれば身近な地区委員や地区理事、またはダイレクトでも結構ですので知らせてもらえると、技師会活動の活性化につながりますので皆様のご協力お願い申し上げます。

組織調査委員会 蒲

フレッシュ診療放射線技師の集い報告

7月7日(土) ホテルセントノーム京都にて19時より「フレッシュ診療放射線技師の集い」を開催し、フレッシュ技師30名(2年目非会員4名含む)、一般会員35名、計65名の参加者で、フレッシュ技師は過去最高の参加者でした。

轟会長の挨拶の後、小倉名誉会員の乾杯の音頭により楽しく始めました。今年はこちらといったイベントを行わなかったのですが、京放技理事の自己紹介の後、フレッシュ技師の紹介をし、楽しいひとときを過ごせました。

フレッシュ技師の方々は、他の施設とまだ交流が少なく、熱心にベテラン技師の話に耳を傾け、フレッシュ技師同士も情報交換を行なえたのではと思います。

今回、この会に参加して技師同士の交流がいかにか大切かを少しでもわかっていただけたならと期待し、午後9時、河本副会長の閉会の挨拶により、楽しく会を終了しました。

来年も会員の皆様からのフレッシュ技師の紹介をよろしくお願いします。

厚生委員会 中川

第 543 回研修会報告

日本診療放射線技師会常務理事 北村善明

「チーム医療推進協議会」を平成 21 年に立ち上げ、私が代表をさせていただいていましたが、今年から理学療法士協会の半田氏が代表を、私は相談役となっています。国民から見ると医療スタッフは医師と看護師、その他の医療職というようにコメディカルがひとくりにされており、かつ、コメディカル同士でもそれぞれの交流もなく、どのような仕事をしているのかよく知らないというのが現状であった。この状況からコメディカルの必要性のアピールと、また、それぞれの質の向上と病院内外での評価を上げる目的として「チーム医療推進協議会」が発足されました。ここではコメディカルとは言わず、医師、看護師、コメディカルを含めて、「メディカルスタッフ」と表現するようにしています。メンバーとして各医療職種団体の他、医療を受ける側である患者組織にも加わっていただき、国民への広報としてマスメディア関係の方にもアドバイザーとして参加していただいています。



中央社会保険医療協議会にもメディカルスタッフの資料提出や説明を行うようになりました。このチーム医療推進協議会を通して厚生労働省と頻繁に関わるようになり、さらに平成 22 年の政権交代により民主党が与党になったことにより中央社会保険医療協議会委員に任命されました。

平成 22 年 4 月に厚生労働省医政局長通知として「診療放射線技師については画像診断等における読影の補助と放射線検査等に関する（被ばくを含めた）説明・相談」という役割が追加として通知されています。

厚生労働省の下部委員会であるチーム医療推進方策検討ワーキンググループに日本診療放射線技師会の原口理事も参加していただいておりますが、これに並行した形で日本診療放射線技師会で行ったチーム医療実態調査のアンケートによると、造影 CT 検査時において、造影剤自動注入器を用いて診療放射線技師が注入を行っている施設は全体で 84% に上ることが判明しました。留置針からの造影剤投与を診療放射線技師が行っている施設も全体の 43% です。また、診療放射線技師が留置針の抜針および止血を行っている施設は全体の 26%、下部消化管検査（注腸検査）を行っているのは 58% です。こうした調査を踏まえ、これらの検査を診療放射線技師業務として認めるのはどうかとチーム医療推進方策検討ワーキンググループで協議しています。具体的な内容は

①造影剤の血管内投与に関する業務として

- (i) CT 検査、MRI 検査等において医師又は看護師により確保された静脈路又は動脈路に造影剤を接続すること及び造影剤自動注入器の操作を行うこと。
- (ii) 造影剤投与終了後の静脈路の抜針及び止血を行うこと。

②下部消化管検査に関する業務

- (i) 下部消化管検査に際して、カテーテル挿入部（肛門）を確認の上、肛門よりカテーテルを挿入すること。

- (ii) 肛門より挿入したカテーテルより、造影剤及び空気の注入を行うこと。
である。

課題として、RI 検査における放射性同位元素投与後の撮影がある。実態としては診療放射線技師が実施しているが、法的に業務として明確に位置づけられていないため、安全性・品質管理上の課題がある。その対応案として RI 検査についても、多くの RI 検査が診療放射線技師により実施されていることに鑑み、診療放射線技師の業務範囲として位置付けてはどうか、とされている。具体的には、RI 検査を「診療の補助として、磁気共鳴画像診断装置その他の画像による診断を行うための装置であって政令で定めるものを用いた検査」（診療放射線技師法第二十条の二）に位置付け、政令に、RI 検査関連機器を追加する、ことを検討している。

以上の報告をもって平成 23 年 12 月 22 日に厚生労働省内で第 25 回社会保障審議会医療部会において検討されました。結論として「診療放射線技師については、教育等により安全性を担保した上で、検査関連行為と核医学検査をその業務範囲に追加することが必要である」として医政局通知が出される予定であるが、国会が混乱していることもあり、なかなか実現していません。が、今国会内で通知されることは医政局に確認しています。

当該通知をもって診療放射線技師の業務に CT、MR 検査における造影剤ルートの接続、自動注入器による投与、下部消化管検査時のネラトン挿入、造影剤注入が認められるわけだが、そのためには養成学校における教育項目の追加、または現役診療放射線技師については講習会の受講が必要となる。

静脈注射（針刺しは除く）講習会として、

- 講義
1. 静脈注射に関わる診療放射線技師の法的責任
 2. 薬剤（造影剤）に関する知識
（薬物動態、副作用、禁忌）
 3. 合併症への対応
（アナフィラキシーショック、静脈炎、血管外漏出）
（抜針時の注意）
 4. 静脈注射と感染管理
（静脈注射の清潔操作、血管留置カテ感染防止）
（針刺し事故防止）

実習 抜針の実際（シミュレータを用いた実践）

を予定、実施している。

注腸 X 線検査臨床研修としては、

1. 注腸 X 線検査在宅講習
2. 注腸 X 線検査統一講習会
3. 注腸 X 線検査施設研修

を予定、実施している。

第 4 回理事会報告 平成 24 年 7 月 14 日

議長に新井理事、書記に原口理事を選任し 16 時に議事に入った。

I. 経過報告及び計画に関する件

1) 経過報告及び計画 (轟会長)

(経過報告)

- ・6月10日 京都病院学会長副会長会議 (池坊短期大学)
- ・6月16日～17日 PMET 診療放射線技師新人研修会 (大阪府医師協同組合)
- ・6月19日 看護協会研修会 (京都府看護協会)
- ・6月24日 基礎講習会「MRI」開催 (京都府立医科大学基礎医学学舎)
- ・7月7日 全地区委員会及びフレッシュ診療放射線技師の集い (セントノーム京都)
- ・7月14日 平成 24 年度京放技第 4 回理事会 (京放技会議室)
- ・7月27日 第 544 回研修会 (京都テルサ東館)
- ・8月26日 フレッシュアサヒセミナー (メルパルク京都)
- ・9月1日 近畿地区教育委員会会議 (大放技事務所)
- ・9月2日 両丹地区夏季研修会 (丹後あじわいの郷)
- ・9月8日 平成 24 年度京放技第 5 回理事会 (京放技会議室)
- ・9月15日 線量計校正研修会 (京都医療科学大学)
- ・9月28日～30日 日本診療放射線技師会総合学術大会 (名古屋国際会議場)
- ・10月6日 平成 24 年度京放技第 6 回理事会 (京放技会議室)
- ・10月 中間監査 (京放技事務所)
- ・10月27日 奈良県放射線技師会創立 60 周年記念式典 (奈良県)
- ・10月28日 くらしと健康展 (レントゲン祭) (京都府医師会館)
- ・11月10日 平成 24 年度京放技第 7 回理事会 (京放技会議室)
- ・11月17日 学術・管理士合同研修会 (島津三条工場研修センター)
- ・11月25日 近畿野球大会 (西宮鳴尾浜薬業グラウンド)
- ・12月16日 静脈注射講習会および試験 (兵庫医科大学)
- ・2月2日 新年会および公開講座 (京都ブライトンホテル)
- ・2月3日 近畿囲碁大会 (奈良県泉沢荘)
- ・2月16日 近畿第 2 回会長・副会長会議 (大阪)
- ・2月17日 近畿放射線技師学術大会 (大阪府立大学)
- ・2月24日 静脈注射講習会および試験 (京都第二赤十字病院)

(備考)

診療放射線技師基礎技術講習予定

- 基礎技術講習「一般撮影」 10月下旬から12月初旬(奈良)
 - 基礎技術講習「消化管検査」 10月下旬から12月初旬(大阪)
 - 基礎技術講習「X線CT検査」 11月(不確定)
 - 機器管理士失効者講習会 1月(兵庫)
 - 線管理士失効者講習会 2月上中旬(滋賀)
- 会場確保のため、新年会・公開講座の予定日を変更している
物品の確保のため、静脈注射講習会の予定日を変更している

2) 各委員会報告及び計画

【庶務】皿谷理事(代、北村副会長)

- ・6月30日現在会員数 494 名(名誉会員除く)内訳:正会員 465 名、名誉会員 6 名、賛助会員 29 名(社)新入会員 2 名
- ・委員会報告
- ・6月10日 府庁提出用事業年度終了報告作成
- ・6月11日 イベント申請、送信
- ・6月20日 諸無関係書類整理、職員給与計算
- ・6月26日 収発文書整理
- ・対外文書 114 件、発刊文書 12 件
- ・新入会員 2 名の承認

【財務】武部理事

- ・平成 24 年度会費納入状況 6 月末日現在 200 名 (43.1%)
- ・平成 23 年度会費未納者 15 名
- ・平成 24 年度 6 月会計収支報告
- ・7月5日 財務委員会開催
- ・事務所の火災保険(事務所 8,150 円、会議室 10,160 円それぞれ一年契約)について承認

【学術】原口理事

- ・6月24日 日放技基礎技術講習「MRI 検査」(京都府立医科大学)
- ・6月28日 学術委員会
- ・7月7日 第 543 回研修会(51 名参加)(ホテルセントノーム京都)
- ・7月27日 第 544 回研修会予定 (京都テルサ)
- ・8月26日 フレッシュアサヒセミナー予定 (メルパルク京都)
- ・8月26日 医療画像情報精度管理士移行講習会予定 (メルパルク京都)
- ・9月1日 近畿地区教育委員会会議参加予定 (大放技事務所)

【編集】中島理事(代、北村副会長)

- ・6月18日 7月号ニュース編集作業
- ・6月25日 7月号ニュース校正作業
- ・7月17日 8月号ニュース編集作業予定
- ・7月23日 8月号ニュース校正作業予定

【広報・渉外】新井理事

- ・6月9日～10日 第 47 回京都病院学会会場設営・出務(池坊短期大学)
- ・6月27日 第 39 回くらしと健康展第 1 回実行委員会(京都府医師会館)
- ・7月3日 第 47 回京都病院学会反省会 (COCON 烏丸)
- ・7月18日 第 39 回くらしと健康展第 2 回実行委員会予定 (京都府医師会館)
- ・10月28日 第 39 回くらしと健康展開催予定 (京都府医師会館)
- ・くらしと健康展にて日放技の「レントゲン週間」のパネルを展示予定
- ・くらしと健康展の出務者募集中

【組織調査】久保田理事

- ・6月14日 西地区委員会出席
- ・6月21日 組織調査委員会開催
- ・7月2日 西南部地区委員会出席
- ・7月7日 全地区委員会開催 出席者 32 名
- ・11月17日 京放技学遊会予定

【厚生】中川理事(代、北村副会長)

- ・7月7日 フレッシュ診療放射線技師の集い 65 名参加 (ホテルセントノーム京都)
- ・11月25日 近畿地域野球大会開催予定(西宮鳴尾浜薬業グラウンド)

【情報】中田理事

・諸事情にてホームページの更新が出来ていませんが、順次行なっていきます。

【管理士】山根理事

- ・6月20日 サーベイ活動の講演 (大阪医大附属病院)
- ・7月3日 線量計講習会打ち合わせ
- ・9月2日 両丹地区夏季研修会にて管理士会アンケート報告予定
- ・9月15日 線量計校正研修会予定 (京都医療科学大学)
- ・11月17日 管理士会研修会予定 (島津三条工場研修センター)
- ・管理士委員 4 名の承認

【受賞者選考委員会】河本副会長

・特になし

II. 地区経過報告及び計画に関する件

【北地区】古谷理事

- ・6月28日 北地区委員会開催(5名参加) (西陣病院)
- ・7月3日 全地区委員会・研修会の案内、連絡網配信
- ・7月5日 計報連絡、連絡網配信
- ・7月7日 全地区委員会(3名参加)
- ・地区委員 1 名の承認

【中地区】楢理事

- ・6月9日～10日 京都病院学会出務 (池坊短期大学)
- ・6月下旬 地区委員会の日程調整及び全地区委員会の出席依頼
- ・6月28日 中地区委員会開催
- ・7月 研修会案内、日放技アンケートの協力及び計報連絡を連絡網にて配信
- ・7月7日 全地区委員会、第 543 回研修会(2名参加)

【東地区】平川理事

- ・6月21日 全地区委員会、フレッシュ診療放射線技師の集い呼びかけ
- ・7月2日 全地区委員会案内を連絡網にて配信
- ・7月5日 計報連絡を連絡網にて配信
- ・7月7日 全地区委員会、フレッシュ診療放射線技師の集い(10名参加)

【西地区】丸山理事(代、北村副会長)

- ・6月14日 地区委員会開催 (向日回生病院)
- ・6月26日 フレッシュ診療放射線技師の集い参加呼びかけを連絡網にて配信
- ・7月3日 全地区委員会・研修会の案内を地区委員へ連絡
- ・7月5日 計報連絡、連絡網にて配信
- ・7月7日 全地区委員会、研修会、フレッシュ診療放射線技師の集い(4名参加)

【南地区】渡里理事

- ・6月末日 全地区委員会、フレッシュ診療放射線技師の集い参加呼びかけを連絡網にて配信
- ・7月7日 全地区委員会、研修会、フレッシュ診療放射線技師の集い参加
- ・8月 地区委員会開催予定 (宇治徳洲会病院)

【両丹地区】山添理事

- ・6月16日 両丹地区春季研修会開催(13名参加)(与謝の海病院)
- ・6月16日 地区委員会開催 (与謝の海病院)
- ・7月7日 全地区委員会、研修会、フレッシュ診療放射線技師の集い(2名参加)

・8月 地区委員会開催予定

・平成 24 年度京都府放射線技師会夏季研修会予算の承認

【西南部地区】松元理事

- ・6月25日 全地区委員会、フレッシュ診療放射線技師の集い参加呼びかけを連絡網にて配信
- ・6月29日 会費請求の不備について調査依頼
- ・7月2日 地区委員会開催
- ・7月4日 研修会案内
- ・7月6日 計報連絡を地区委員に連絡
- ・7月7日 全地区委員会、フレッシュ診療放射線技師の集い(10名参加)

Ⅲ、その他

- 1) 全地区、フレッシュの反省点等について
より多くの地区委員の参加をお願いしたい
- 2) ピンクリボン後援について
ピンクリボン京都の後援について承認
- 3) その他
火災報知機、消火器、禁煙の周知徹底について提案

計画停電が実施時の事務所の対応を確認

次回理事会は、平成 24 年 9 月 8 日(土) 16 時より京放技会議室にて開催予定。
議長に城下理事、書記に松元理事を予定。
以上、各議案についてそれぞれ採択し承認された。

(文責 原口)

医療画像情報精度管理士移行講習会お知らせ

すべての医用画像情報管理士の有資格者が医療画像情報精度管理士へスムーズに移行できるように、公益社団法人日本診療放射線技師会が定めた一定レベルの講習会を実施いたします。PACS・RISの運用管理を行う知識を持ち、適切な医用画像の利用を進め、また、画像の精度管理を担う人材が求められています。

医用画像情報管理士の有資格者の方は受講・受験するようお勧めします。

日 時：平成 24 年 8 月 26 日(日) 13:00 ~ 17:00

場 所：メルパルク京都（京都駅前東側）

京都府京都市下京区東洞院七条下る東塩小路町 676 番 13

受講料：1,000 円（非会員 2,000 円） 検定料込み（受講料は当日頂きます）

受講資格：医用画像情報管理士有資格者

申込み方法：医療画像情報精度管理士移行講習会受講希望、氏名、所属、連絡先電話番号及びメールアドレス、技師会会員は会員番号を明記のうえ、下記へメール又は Fax にてお願いします。

（公社）京都府放射線技師会事務所

メールアドレス：kyohogi@mbox.kyoto-inet.or.jp

Fax：075-802-0082

申し込み締め切り：平成 24 年 8 月 17 日(金) 必着（Fax の場合は 17:00 まで）

事務所休止のお知らせ

8 月 15 日(水) ~ 19 日(日) の間、事務所を休業させていただきます。
その間はメール、Fax にてご連絡いただけますよう、お願い申し上げます。

京都市内で非常勤の募集があります。詳しくは京放技ホームページにて。

▶ 9 月号予告

第 544 回研修会報告
その他

会員異動

▶ 8 月以降の京放技活動予定

8 月 26 日 (日)	フレッシューズセミナー	(メルパルク京都)
	医療画像情報精度管理士移行講習会・試験	(メルパルク京都)
9 月 2 日 (日)	両丹地区夏季研修会	(丹後あじわいの郷)
9 月 15 日 (土)	線量計校正研修会	(京都医療科学大学)

会 員 異 動

【勤務先変更】

安藤 博敏 生駒病院